


「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書
(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

2019年 9月 19日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	義村 弘仁

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
札幌
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
札幌市立円山動物園での調査
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
2019年 9月 10日 ~ 2019年 9月 18日 (8日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
札幌市立円山動物園
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
今回の渡航では、これまでと同様にユキヒョウの行動観察を行なった。加えて植物に対する選好性を調べるために、放飼場の植生調査も行なった。円山動物園ではペアが別居飼育されているため、一方の放飼場はビデオカメラを設置し、他方の放飼場を肉眼による目視で観察した。 1週間の観察期間のうち、6日間で植物を食べる様子が観察された。食べている植物はイネ科のオーチャードグラスのみであった。オーチャードグラスは最も優占している植物種ではあったものの、他の植物種もそれなりに存在していたことから、ユキヒョウは選択的にオーチャードグラスを食べていると考えられる。王子動物園での観察時にも、類似した外見を持つイネ科のカモジグサを食べていたため、比較的大型のイネ科植物を好んでいる可能性がある。 行動観察と同時に2週間の採糞も行なっていたおり、行動観察終了後も継続する。採取していただいた糞は野生動物研究センターにて分析し、糞に含まれる毛と植物の量を分析する。 また、今回の渡航では北海道大学の早川助教にお話を伺う機会があり、今後ユキヒョウの腸内細菌にも注目していきたいと考えている。

図1：オーチャードグラスを食べるユキヒョウ
6. その他 (特記事項など)